

＜第 103 回キャンパス・サミット資料＞

平成 28 年 10 月 18 日

社会環境学部の「里山ビオトープ」と新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

坂井宏光

1. 里山ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープ活動は平成 18 年 3 月から始まり、可能な限り持続的に自然環境を維持保全して発展させてきました。そして、地域の皆様と学生達が自然観察会などで交流の輪を広げています。

平成 28 年度、7 月 2 日（土）に第 41 回（夏）の自然観察会を開催しました。ビオトープ活動は、参加者は 2 歳から 70 歳代の地域住民 13 名、学生 38 名で、「虫たちと遊ぼう！」を楽しみました（下写真、左）。また、10 月 15 日（土）に第 42 回（秋）の自然観察会を開催しました。参加者は地域住民 5 名、学生 28 名で、「草木染を体験学習」をして楽しく交流しました（下写真、中央と右）。

次回は、12 月 3 日（土）に第 43 回（冬）の自然観察会を開催いたします。是非、親子やグループ、個人などでご参加いただき、自然の中でクズの蔦採取と「籠編み体験学習」や交流もお楽しみください。（開催案内等は HP で公開中）。



2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 地域環境連携活動の一環として、2016 年 4 月から本格的に新宮町の人丸公園ビオトープでの環境保全や環境学習を推進するため、自然観察や生態系調査・研究、交流活動などを行っています。

8 月 9 日（火）午後に長崎大学ビオトープサークル学生 8 名と教員 1 名、本学学生 19 名と教員 1 名で第 5 回大学間連携交流会を人丸公園ビオトープで開催しました。大学から徒歩で新宮町商店街を歩いて約 20 分間移動し、オアシスのような人丸公園ビオトープに到着して、すぐに自然観察を開始しました（下写真）。福工大里山・ビオトープと対比しながら人丸公園ビオトープと周辺環境の雑木林や湿地を観察し、意見交換などをして有意義に、とても楽しく交流しました。

